

Jスリングベルト 取扱説明書

材質：ポリエステル

【発売元】 株式会社 **トヨセフティ**
兵庫県三木市別所町巴21-1 三木工場公園
営業所：札幌・新潟三条・東京・名古屋
URL：http://www.toyo-safety.co.jp
当社消費者相談室 TEL 0794-83-0155

【製造元】 **東洋物産工業株式会社**

- この度は当社製Jスリングベルトをお買い上げ頂き、お礼申し上げます。
- Jスリングベルトを使用する前にこの説明書を最後まで読んで頂き、充分ご理解の上使用して下さい。(この説明書は読んだあと大切に保管して下さい。)
- 疑問や不明な点がございましたら、上記の当社消費者相談室までご連絡下さい。
- この説明書を紛失した場合も同室までご請求下さい。

吊り角度による使用荷重表

JIS B 8818 規格品
等級：IV等級(最上級)

単位：t

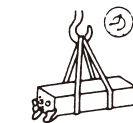
吊り方 吊り角度 モート係数M 幅 最大 使用荷重	ストレート吊り		目 通 し 吊 り (チョーク吊り)			
			2本使用時			
	—	—	$\alpha = 0^\circ$	$\alpha \leq 45^\circ$	$45^\circ < \alpha \leq 90^\circ$	$90^\circ < \alpha \leq 120^\circ$
25mm幅	1.0	0.8	1.6	1.4	1.1	0.8
35mm幅	1.6	0.8	2.56	2.24	1.76	1.28
50mm幅	2.0	1.6	3.2	2.8	2.2	1.6
75mm幅	3.2	2.56	5.12	4.48	3.52	2.56

吊り方 吊り角度 モート係数M 幅 最大 使用荷重	バスケット吊り								
	$\alpha = 0^\circ$	$\alpha \leq 45^\circ$	$45^\circ < \alpha \leq 90^\circ$	$90^\circ < \alpha \leq 120^\circ$	$\alpha = 0^\circ$	$\alpha \leq 45^\circ$	$45^\circ < \alpha \leq 90^\circ$	$90^\circ < \alpha \leq 120^\circ$	
25mm幅	2.0	1.8	1.4	1.0	4.0	3.6	2.8	2.0	
35mm幅	3.2	2.88	2.24	1.6	6.4	5.76	4.48	3.2	
50mm幅	4.0	3.6	2.8	2.0	8.0	7.2	5.6	4.0	
75mm幅	6.4	5.76	4.48	3.2	12.8	11.52	8.96	6.4	

⚠ 危 険

誤った使い方をしますとJスリングベルトが切れたり荷がすべり落ちる恐れがあり大変危険です。下記の項目を守って使用して下さい。

- Jスリングベルトは、使用状態に合った適切なものを選定し、使用して下さい。
- TOYOのJスリングベルトは、十分な安全係数を考えて作られていますが、「吊り角度による使用荷重表」の範囲を守って使用して下さい。
- 荷はバランスよく荷物が傾かないように吊って下さい。
- 水、油等に濡れると滑り易くなりますので注意して下さい。
- 鉄板、ルーフデッキ、デッキプレート、コンパネ、外壁用角波材、ガラス及び角張った荷物は、必ずコーナーパット等のあて布を使用し、横滑りさせないようにして下さい。(横滑りすると摩擦熱で切断する恐れがあり、大変危険です。)
- 2本吊りする場合、同一製造業者、同一材質、同一品名の長さ幅の物をご使用下さい。(ベルトの材質等により伸びが異なり荷のバランスが悪くなります。)
- 同じ長さ表示のJスリングベルトであっても多少長さが異なる場合があります。2本吊りにする場合は、長さを確認の上、荷をバランスよく吊って下さい。
- 使用温度は100℃以下とし、-30～50℃の温度範囲を超えて使用する場合は、使用荷重について製造業者の指示に従って下さい。(最大使用荷重の50%以下)
- 目通し吊り(チョーク吊り)をする場合は、深絞りして吊って下さい。
- 他の吊り具や補助具類と組み合わせて使用するときは、連結部分でJスリングベルトが損傷することのないように注意して下さい。
- 荷物を吊ったままで長時間放置しないで下さい。
- 極端なねじれ、結びまたはお互いに引っ掛けた状態で使用しないで下さい。
- ねじれた状態で長時間加圧したり、エッジ状のもので加圧した状態で放置しないで下さい。
- 点検の結果、廃棄することになったJスリングベルトは、補修したり使用荷重を減らすなどして再使用しないで下さい。



⚠ 注 意

安全にお使いいただくためお守り下さい。

- Jスリングベルトは、熱、日光、薬品などの影響を受けると、性能の低下及び長さが伸縮する場合がありますので上記の影響を受けない場所に保管して下さい。
- 酸性薬品がかからないようにして下さい。
- 荷物の下から引き抜く時は、Jスリングベルトを損傷させないで下さい。
- 地面や床の上を引きずらないで下さい。(繊維を傷つけます。)
- その他特殊な状態で使用するときは、製造業者に相談して下さい。



Jスリングベルトの点検基準

- Jスリングベルトは、日常点検及び定期点検を行って使用して下さい。
日常点検とは、使用前に行う点検をいいます。
定期点検とは、定期的に行う点検で、使用頻度によって異なるが、原則として1ヶ月ごとに行って下さい。
- 点検項目、点検方法及び廃棄基準は、下表による。

点検項目	点検の種類		点検方法	廃 棄 基 準
	日常点検	定期点検		
損傷の状態 (摩擦、きず及び縫糸の切断)	(1) アイ	○	○	目視 (a)織目が分からないほどに毛羽立ちし、たて糸の損傷が認められるもの。 (b)目立ったきず、すりきず、引っかけきずなどが認められるもの。 (c)縫糸が切断して、アイの形状が保たれないもの。
	(2) 縫製部	○	○	目視 (a)目立ったきず、すりきず、引っかけきずなどが認められるもの。 (b)縫糸が切断して、ベルトのはく(剥離)が少しでも認められるもの。
	(3) 本体	○	○	目視 (a)全幅にわたって縫目が分からないほどに毛羽立ちし、たて糸の損傷が認められるもの。 (b)幅方向に幅の1/10、又は厚さ方向に厚さの1/5に相当するきず、すりきず、引張りきずなどが認められるもの。 (c)縫糸が切断して、幅以上の長さにわたってはく離しているもの。
その他の外観異常	○	○	目視	熱や薬品などによる著しい変色、着色、溶融、溶解などが認められるもの。
使用期間		○	管理台帳、表示などの確認	Jスリングベルトの使用状況によって、外観に損傷及び異常がなくても、次の使用期間をこえるもの。 屋内で使用する場合、使用開始後7年を経過したもの。 常時屋外で使用する場合、使用開始後3年を経過したもの。
当てもの	○	○	目視	著しい変形又は破損したもの。